

パパにインタビュー

パパ： 星野拓人さん 36歳

柏陽鋼機株式会社 鋼材加工センター
CAD 管理課 課長

お子さん： 長女(5歳)と次女(8ヶ月)

育休の取得期間： 生まれてから2か月間



③ 育休を取ろうと思ったきっかけを教えてください

長女が生まれたとき、妻は実家にお世話になりました。妻と長女は2か月ほどで自宅に戻ってきましたが、私も一緒に新生児期の日々の成長を間近で見たかったという思いがあり、次女の出産時は育休を取りたいと考えていましたし、妻も希望していました。中小企業、鉄骨業界での男性育休は珍しいことですが、一緒に子育てしたい気持ちが強くありました。

また、次女の妊娠が分かり、母子手帳を妻と一緒にもらいに元気館に行ったとき、男性が育休を取ると奨励金が交付されることを説明してもらったことも取得の後押しになりました。

④ 育休を取ることを職場に伝えたときの反応はどうでしたか

業務が回るのかという心配の声や、ポジション的に私が抜けてしまうことで影響が出るのが想定されました。しかし、早い段階で周囲に説明し、休める体制を整えることで部下に任せることができました。

⑤ 育休前に二人の家事や育児など役割分担について話し合いをしましたか

普段から協力して家事をしているので、特にこれといった分担せず自然な形で対応していました。冬場の水仕事は手が荒れるので、自分が中心におこなうことを意識しました。

⑥ 夜はどのように過ごしていましたか

次女は、新生児の時期から一緒にいるせいか、私にとってもなついていて、抱っこすると安心して寝るんです。夜も長く眠ってくれるいい子ですが、泣いた時は交代で面倒を見ていました。



㊦ 上のお子さんとの関係はどうか

育休を取得した目的の一つに、長女にママと二人だけの時間を持たせてあげたいと思ったことがあります。次女が生まれて、初めのうちは赤ちゃん返りをした長女も、ママとの時間を多く持つことで安定し、妹をととても可愛がるようになりました。妹もお姉ちゃんのが大好きです。



㊦ 育休中に大変だと思うことはありましたか

2月に生まれましたが、まだ新型コロナウイルスの心配もあり、能登半島地震もありました。昨年のような大雪のときに子どもを病院に連れていかなければならなくなつたらと、大変というよりも不安に思うことの方が多くありました。

㊦ パパが育休を取って、ママはどんなふうに思っていますか

長女のときは妻が一人で面倒を見ていたので、例えば、トイレに行くなど、赤ちゃんを一人にして大丈夫かなという不安がありました。二人だと安心して過ごせたと話しています。

㊦ 仕事に戻るときに不安などはありましたか

家庭では、妻が一人で子ども二人の面倒をみななければならないので、精神面でも負担を掛けてしまうなと思いました。子どもたちは、パパがいなくてさみしいと思ったようです。その分、家に帰ると飛び切りの笑顔で迎えてくれました。本当に可愛いですね。

㊦ 休職中は収入が減ってしまいましたが、不安はありませんでしたか

もちろん、不安が大きかったですね。そのため、母子手帳をもらうときに説明を受けた男性の育休奨励金について市に問い合わせたり、ほかにも情報がないか調べたりしました。休職している間の収入がなくなることは想定していましたが、そのことに関して周りはどう対応していたか、制度を使うにあたっての体験談などの情報が薄い状況でした。

実際に出産後はまとまった出費があるので、本当に不安でした。雇用保険の育休給付金や市の育休奨励金も、仕事に復帰し、申請しないともらえないので、実際は3か月間収入が途絶えたような状況でした。その間は貯金を取り崩すことになるため、育休を取るパパさんたちは不安に感じると思います。我が家の場合、出産費用は出産育児一時金の中で収まりましたが、生まれた曜日や時間帯で費用が高くなることもあります。出産や育児にどれくらいの費用が必要なのか、情報を共有できたらいいなと思いますね。

③ 家事や育児は段取力が向上すると言われますが、育休中の経験が仕事でも役に立つと思うことはありますか

私は普段の業務で受注管理や工程管理を担当していますが、段取りが重要です。私は、逆に仕事の子育てに生きたと思っています。例えば、おしりふきなどの育児用品は、単価や使用頻度を見込んだ上で、定期便で家に届くようにするなど、管理して購入しています。

④ 最後に、育休を取るか迷っていたり、うちの会社じゃ無理だな、と迷ったりしている方に向けて、メッセージをお願いします！

何よりもわが子の成長を間近で見守れることは、かけがえのない大切な時間です。

職場のことを考えると、迷惑を掛けて取りにくいと思う気持ちも分かりますが、あまり気にしすぎないで、まずは周囲へ相談してほしいです。周囲への感謝の気持ちがあれば、職場も応援してくれると思います。皆さん立場や状況に違いはあると思いますが、管理職でも育児休業ととることができました。

柏崎市でも相談窓口がありますのでそちらの利用もおすすめです。私自身も相談しましたが、丁寧に対応して頂き大変助かりました。

収入面への影響はありますが、あまりマイナスに考えず、情報を集め、分からないことは積極的に聞き、育児に臨んでもらいたいと思います。私の場合、母子手帳と一緒に男性育児奨励金のチラシをもらったことが育休を取ったきっかけの一つなので、母子手帳は絶対に夫婦で一緒にもらいに行くことをお勧めします。

また、産後の精神的に不安定な時期に、妻の相談相手になれるのは一番身近な存在の夫だと実感しています。しっかりとお互いに向き合って話し合うことで、夫婦ともに気持ちが楽になると思います。

次女が8か月になり、ハイハイを始めました。活動的になるこの時期にもう一度育休を取れたら、妻も助かっただろうなと、少し後悔しています。今は産後パパ育休の取得も推奨されています。分割して取得するなど、夫婦で相談し、計画的に取得してほしいと思います。

